

にこにこ情報

竹とんぼ

第253号 令和4年5月1日



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌



五月の第二日曜日は「母の日」である。亡くなつた金城（かなぐすく）会長が緑樹会を去る時、ぼくに一冊の詩集をくれた。それは「サトウ ハチロー」の『おかあさん』（シリーズで第3号）であった。

金城会長はその詩集のシリーズを何冊か持つてゐるようで、その中の一冊をぼくにくれたのだ。介護事業に係る書籍でも事務的な仕事に関する本でもなく、ぼくに残して行つたのはその詩集だつた。詩集を受け取つたものの、彼は特別にその詩集について語ることはなく、ぼくも何も訊かなかつた。一人とも障害を持つ身で、この歳まで何とか生き延びてきたといふことと母への想いはいまさら言葉にする必要もなかつた。

ぼくたちはお互いの母が、障害を持つ息子にどれほど心を碎き、心労と自責の念に駆られながら、息子の将来を案じて生きてきたのかもよく知つてゐる。その母親の苦悩について、ぼくたちは語り合つたことはなかつた。それはいつの日もちよつとした感情の隙間からしみ出てくる言葉の重みみたいに、ぼくの心に静かに音もなく落ちつていつた。

ぼくはずつと想つてきた。この世の中のすべての人が自分を見捨てても、母だけはぼくを信じ、そしてずっと愛し続けてくれる、と。母の生きた苦悩の一欠けらもぼくは支えることができなかつた。それでも、母は息子を深い愛情で包んでくれた。たぶん、会長もそんな想いでぼくに『おかあさん』の詩集を渡したのだと思う。

どうして母はあんなにも素直に、まるで自分の体の一部のように子どもを慈しみ、すべてを背負つて生きることができるのだろうか。喜びも悲しみも我が子とともにあり、自分のための小さな望みさえ、我が子のために捨ててしまふ潔さ。

もしこの世に母という存在がなければ、ぼくは人の温もりや優しさを知らずに、独りよがりの人間になつていたと思う。

母の日記をよみました
サトウ ハチロー

悲しきことのみ多かりき

そのよろこびの日もありきといふ文字が
太く強くしるされているのが
かえつてボクには
かなしくて かなしくて

新一年生！入学おめでとうございます！

4月に入り、今年のみどり学童には15名の新一年生が入ってきました！

今年度の学童は46名の大所帯です。毎年の事ですが、初めの数日は緊張してしまうかな？という心配をよそに、初日からエンジン全開という頼もしいメンバーでした！新しいお友達、お兄さんお姉さんに囲まれて、勉強に遊びに毎日楽しんでいます。きっと外にも子ども達の楽しそうな声が響いていると思います。

更にパワーアップしたみどり学童クラブをよろしくお願ひします！



みどり学童クラブ うーまくー通信



3月29日、毎年恒例のカレーパーティとお別れ会を行いました。

雨がパラパラと降っていたので、カレー作りのみ外で行い、室内で食べました。毎年やっていることもあり、高学年も手際よくカレーを作れるようになりました！食べる時は室内ではありましたが、車座になって美味しくいただきました。

午後は今年度で退会する児童たちを囲んでお別れ会。

最後にみんなで楽しく送り出しました。卒会する皆さん、これからもみどり学童の思い出を胸に頑張ってください！

ケアハウスはいびすかす活動報告 クラブ活動やアフタヌーンティーも

4月に入って少しずつ暖かくなりました。はいびすかすの皆さんは今日も元気に過ごされています！天気のいい日はベランダでガーデン・アフタヌーンティーを楽しみました。また、書道やカラオケなど、クラブ活動も活発です！



旧暦3月の年中行事「浜下り」緑樹苑デイサービスセンター



『浜下り』ドライブへ出かけた。
は、4月12日(火)と15日(金)に、
コロナ禍でのドライブは久しぶり
で、感染対策を施しながら、車中
でのおしゃべりや風景を楽しんで
いた。目的地の海岸へ到着すると
風も心地よく、皆さん「気持ちいい
ね」と喜んでいた。旧暦三月三日は
過ぎてしまつたが、皆さん一人ひ
とり海水で手を洗い清め、健康を
祈願した。
(崎原さゆり)

モヤシのひげ取りで厨房のお手伝い 緑樹苑デイサービスセンター



いつも美味しい料理を提供して
くれている厨房のお手伝いをして
いて利用者の皆さんでモヤシのヒ
ゲ取り作業を行ったところ、「こっ
とうと利用者の皆さんでモヤシのヒ
ゲ取り作業を行ったところ、「こっ
ちに持つて来なさい」「久しぶりに
やるね」と、積極的に取り組んで
いた。

「昔話に花がさくさく」などの声も
あつたが、しばらくするとだん
んとおしゃべりが減つていき、いだも
行つたまにか作業に集中して黙々と
行っていた。

作業後は、「終わつたよ、持つて
行きなさい」と、モヤシはみんなの
笑顔と共に厨房へ。(崎原さゆり)

令和四年度 入社式・辞令交付式



4月1日(金)、令和四年度の入社式・辞令交付式が行われた。式では、浜川通理事長が訓示を述べ、「高齢者を支えるという使命をもつて職務に励んでほしい。コロナ禍で大変な状況ではあるが張つてもらいたい」と職員を激励した。

その後、採用された職員一人ひとりに辞令が手渡され、受け取った職員は職務への使命を胸に決意を述べました。

令和三年度 定年退職者辞令交付式



令和4年3月31日(木)、令和3年度末をもって定年退職を迎える職員の辞令交付式が行われた。今年度定年を迎える職員は3名。浜川通理事長より職員一人ひとりに労いの言葉とともに辞令が交付され、記念品が贈られた。

定年を迎えた兼城正彦緑樹苑施設長は「三十七年間、諸先輩や後輩の皆さんに支えられ、これまでやつてこれた。これからあと数年、力を尽くしたい」とあいさつした。

定年となつた3名の職員は、継続雇用により4月1日以後も契約職員として従事する。

日々のレクリエーション ケアハウスていんさぐぬ花



緑樹会のお仕事紹介(訪問介護・障害福祉サービス)

自宅で、自立した生活をお手伝い



お問い合わせ
緑樹苑居宅サービス事業所
電話:098(933)3280

緑樹苑居宅サービス事業所では、訪問介護サービスと障害福祉サービスを提供しています。介護を必要とする高齢者や障がい者が可能な限り自宅で自立した生活を送ることができます。資格を持った訪問介護員が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護(身体介護)や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活支援(生活援助)を行っています。

5月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいばすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(日)					
2(月)					
3(火)					学童休園日
4(水)	ミニシアター				学童休園日
5(木)		手作りおやつ会			学童休園日
6(金)		母の日会			
7(土)				母の日会	園外活動
8(日)					
9(月)	母の日祝い会	書道クラブ			
10(火)					
11(水)	ミニシアター	消防設備点検			
12(木)		手作りおやつ会			
13(金)			母の日祝い会		
14(土)					園外活動
15(日)					
16(月)				カフェタイム	
17(火)		ミニシアター	防災訓練		
18(水)	ミニシアター			三線クラブ	
19(木)		手作りおやつ会	誕生会		
20(金)					
21(土)					園外活動
22(日)					
23(月)		書道クラブ		手作りおやつ会	
24(火)			スカイガーデン		
25(水)	ミニシアター	避難訓練		誕生会	
26(木)	誕生会	カラオケクラブ			
27(金)		誕生会			
28(土)					園外活動
29(日)					
30(月)		ミニシアター			
31(火)					

今月号では、みどり学童クラブのお別れ会や新一年生入園のことなどを掲載しています。児童たちの元気な笑顔と健やかな成長の様子に、見ているこちらも元気になります。

5月は『こどもの日』があります。国民の祝日にに関する法律には「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに、母に感謝する」とあります。

『こどもの幸福』は、保護者の皆さんもとより、そこに関わる大人の責任において国を問わず、大人の都合で子ども達の生活が脅かされる状況がある今、一人の親として、一人でも多くのこどもの幸福を願わずにはいられません。

(砂川智規)

編集後記

（令和四年三月一日～三月三十一日）
（物品の部）
喜屋武一夫様

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。



または
インターネット検索で

緑樹会 竹とんぼ Q検索

感謝錄

温かい御支援、御協力下さいました
た方に、厚く御礼申し上げます。